

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

共栄、団結、自律を基本方針として、社会・顧客・役職員・株主と共に栄える企業を目指す。

売上高
60億円以上

営業利益率
6～8%

② 中長期の経営戦略

1. 営業戦略

LPガス用弁の既存シェア維持拡大、生産性向上、海外OEM開拓。バルク供給システム用弁は2023年度をピークに20年更新需要対応。代理店交流強化。

3. 生産改善

2018年7月に一貫生産設備更新完了。バーコード出来高管理導入。不適合品撲滅、固定費削減、VA提案、部材調達多様化で原価低減。

2. 製品開発

LNG用弁、液体水素用弁、圧縮水素用弁等の超低温弁分野、サニタリー弁、汎用弁の開発加速。

4. 人材育成

定期的な能力・業績評価、社内外研修・教育機会設置。プロ意識の高い人材育成を全社的に推進。

③ 対処すべき課題

① コア事業の成熟化対応

- ・国内LPガス市場は成熟、中国・グローバル・サウスの新規投資開拓
- ・現地企業との共同事業開発推進
- ・生産設備刷新で環境配慮と生産性向上の両立

② 新事業領域での成長確保

- ・LNG・水素用弁事業の製品開発業務提携先複数模索
- ・化学プラント・低温機器・エンジニアリング企業への新規開拓営業強化
- ・産業ガス分野での事業開発（空気分離装置周り、容器弁）

③ 食品加工分野での事業展開

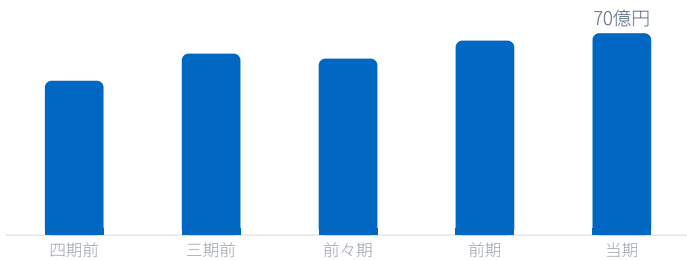
- ・散水ノズル品揃え強化、サニタリー弁納入実績拡大
- ・ワイン醸造機器（ろ過機・容器洗浄機・充填機）の市場参入
- ・甲府工場でのきくらげ栽培・ワイン用ぶどう栽培による6次化農業実践

面接で使えるポイント

- ・LPガス容器用弁で培った技術を基盤に、LNG・水素用弁、食品加工用サニタリー弁など新製品開発に果敢にチャレンジしている点
- ・2018年7月の一貫生産設備更新でコスト低減と生産性向上を同時実現し、収益体質強化を推進している点
- ・甲府工場での6次化農業（きくらげ栽培・ワイン製造販売）を通じ、自社製品の実践検証と新市場開拓を同時に実現する戦略

証券コード 6495

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

要するに
機械製造業に分類される上場企業

主力事業・セグメント

- ・機械（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

－（未開示）

営業利益率

－（未開示）

財務健康度

27点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 44.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

628万円

機械内 151位/208社

平均年齢

45.2歳

機械内 27位/209社

平均勤続

15.9年

機械内 98位/209社

女性管理職

11.4%

機械内 13位/168社

男性育休

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)宮入バルブ製作所【6495】：決算情報

